

2021年4月21日
日本化学工業株式会社

高純度赤燐の新生産棟竣工について

日本化学工業株式会社は、昨年より福島第二工場（福島県田村郡）において建設を進めておりました高純度赤燐の新生産棟がこのたび完成し、4月20日(火)に竣工式を執り行いましたので、お知らせいたします。

◆高純度赤燐新生産棟建設の背景

当社は前中期経営計画方針でもありました「持続的安定収益の実現」に向け、重点分野への集中投資、海外戦略の積極的展開、経営基盤の強化に取り組んでおります。その中で、堅調な成長が続く半導体市場への高純度赤燐の安定供給体制を強固なものにするべく、福島第二工場に新生産棟の建設を進めて参りました。

当社の高純度赤燐は半導体ドーパント材料や、光通信向けとしてインジウムリン(InP)系の化合物半導体材料として採用されています。半導体市場は継続的な成長が期待されており、また光通信向けの受発光素子材料は、インターネット通信の高速化・大容量化に貢献するものとして世界的に需要の増大が見込まれています。

当社の高純度赤燐は、極めて高品質が求められる半導体材料として国内外より高い評価を頂いており、今後も引き続きの需要拡大が見込まれることから、2020年4月に投資を開始し、このたび新生産棟が完成したものです。新生産棟の竣工によりお客様のご要望・ご期待に安定的にお応えできる供給体制を一層強化することが可能となりました。

高純度赤燐は、私たちの暮らしを豊かにする半導体デバイスの製造に必要な原料です。当社は「人を大切に、技を大切に」の企業理念のもと、この高純度赤燐の提供を通じて半導体業界の発展に貢献し、引き続き持続可能な社会の実現を目指します。

◆新生産棟の概要

- (1)工場立地：福島県田村郡（日本化学工業株式会社 福島第二工場内）
- (2)稼働開始：2021年4月
- (3)投資額：約3億円

◆写真：工場外観



以上